

令和 5年度施策評価書

政 策	05 安全安心で快適に暮らせるまちづくり
施 策	03 良好な住環境の実現
主管課	都市計画課
関連課	都市整備課、都市計画課、河川課、建築住宅課、区画整理課、政策企画課、公有財産課、水道総務課、水道工務課
施策が目指す姿	市域/良好な住環境が整っている

方針

令和 5年度	・ 焼津駅周辺は、官民が連携して市の玄関口としてふさわしい魅力的なまちづくりに取り組む。 ・ 大井川焼津藤枝SIC周辺地区は、関係権利者が進めている具体的なまちづくりの検討に対して引き続き支援を行う。 ・ 空き家対策は、所有者に対して適切な管理指導を行うとともに、空き家バンクの活用による流通促進を図ることで空き家の発生を抑制させる。また、焼津駅南地区の空き地・空き家は、ランドバンクによるマッチングにより、特色のあるまちづくりに向けた有効活用の促進に取り組む。
--------	---

指標

成果指標名①	暮らしやすいと感じている人の割合（市民意識調査）					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		68.6	68.6	68.6	68.6	
	実績	68.5	70.1	72.3			
達成率			102.19%	105.39%			
成果指標名②	住環境に満足している人の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		61.5	61.5	61.5	61.5	
	実績	61.4	63.4	65.5			
達成率			103.09%	106.5%			
成果指標名③						単位	%
						達成率区分	
目標値			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画						
	実績						
達成率							

事業費内訳

（単位：千円）

		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
事業費	計画	0	0	1,384,953
	実績	0	0	1,222,195
財源内訳	国庫	計画	0	149,886
	支出金	実績	0	100,520
	県	計画	0	15,010
	支出金	実績	0	15,008
	地方債	計画	0	181,300
		実績	0	105,600
	その他	計画	0	736,349
		実績	0	638,124
	一般財源	計画	0	302,408
		実績	0	362,943
人件費	計画	0	0	275,167
	実績	0	0	349,743
トータルコスト	計画	0	0	1,660,120
	実績	0	0	1,571,938

評価

施策の 振り返り	・立地適正化計画については、都市の持続性を維持するため、居住や都市機能を集積し、公共交通が連携した都市構造を目指すまちづくりの計画として、3月末に公表した。 ・土地区画整理事業について、南部地区は事業完了に向け事業収束業務を進めた。会下ノ島石津地区は令和8年度事業概成に向け移転・工事を進め、進捗率86.2%となった。 ・空き家等の対策については、適切に管理されていない空き家所有者への是正指導等を行い、空き家バンクや子育て世帯移住定住応援事業による中古住宅の流通促進及び空き家除却に係る補助事業を行った。 ・公園・緑地については、都市緑地「潮風グリーンウォーク」の整備を継続して進め、供用開始延長が3,589m（進捗率は75%）となり、利用促進に努めた。 ・無償借地公園制度を活用した豊田地区の公園整備については、関係権利者との交渉を重ね、実施設計に着手した。 ・大井川焼津藤枝SIC周辺地区については、土地区画整理準備組合に対し、土地利用構想などの検討を進めていくための支援を行った。 ・焼津駅周辺については、にぎわいと交流を創出するため駅まち空間の整備検討を行い、また市街地再開発については、事業化に向けて準備組合への支援を行った。 ・良好な景観の保全については、景観形成基準への適合を指導し良好なまちなみの保全に努めた。 ・水道事業については、水道ビジョンに基づいた効率的な水道事業の運営及び老朽管路の更新（耐震化）を行った。
施策の 課題	・立地適正化計画については、市民への周知と合わせ理解を求めるとともに、居住や都市機能を緩やかに誘導するための施策を検討する必要がある。 ・土地区画整理事業について、南部地区は令和7年度の事業完了に向け、収束業務を確実に行う必要がある。会下ノ島石津地区は事業終盤に向け、建物移転が確実に進むよう権利者との交渉が必要である。 ・空き家等の対策については、管理不全な空き家の是正指導とともに除却事業や空き家バンクの支援制度を継続し、管理不全な空き家の発生の抑制と空き家の流通促進を図っていく必要がある。 ・公園整備については、雨水流出抑制へ配慮するとともに、豊田地区や会下ノ島石津地区への公園整備の継続とあわせ、比較的公園が少ない地区への新設を検討し、また、既存公園については、にぎわいの創出に向けた利活用を図る必要がある。 ・大井川焼津藤枝SIC周辺地区については、交通結節点の優位性を活かし、地域の活力を高める新たなまちづくりの検討支援を継続する必要がある。 ・焼津駅周辺については、駅まち空間の整備検討をさらに深めるほか、市街地再開発については、事業が円滑に進められるよう準備組合への継続した支援を行う必要がある。 ・良好な景観の保全については、焼津らしい景観の保全と創出のために景観形成基準へ適合させる必要がある。 ・水道事業については、収益減少や物価高騰など外部環境が厳しい中、水源及び老朽管路の更新（耐震化）など水道ビジョンに基づいた計画的な事業運営に努めるとともに、地震などの災害に備えた応急給水体制の充実を図る必要がある。
市民意見	・立地適正化計画は重要であることから、市民にわかりやすく周知し、アピールする必要がある。 ・公園管理について、市民が積極的に関わる体制づくりがあるとよいと思う。 ・豊かな住環境を図るためにも、区画整理以外の公園を生み出す方法を検討してほしい。 ・市街化調整区域の水田や緑を多く残すことは治水・温暖化対策につながるものであり、情報発信してほしい。 ・少子高齢化により、自治会のバランスや小学校区の再編なども考えられるため、市域全体を見ずえたまちづくりを検討してほしい。